

平成22年(寅)はどんな年？



今年、平成22年の干支は庚寅(かのえとら)です。寅年生まれの人、目標を決めたらやり通す独立独行の人が多と言われ、徳川家康、マルクス、吉田松陰、ドゴールなど後世に名を残す偉人が目白押しです。

過去の寅年、どんな年だった？

過去の寅年の出来事を振り返ってみると、618年(推古天皇26年)李淵が唐を建国、1206年(建永元年)チンギス・ハーンがモンゴルを統一しました。また、争いの多い年で1614年(慶長19年)大坂冬の陣、1950年(昭和25年)朝鮮戦争、1962年(昭和37年)キューバ危機などが起こりました。

政治が熱くなる「寅年現象」

寅年の参議院議員選挙で投票率が上昇する傾向を「寅年現象」といいます。寅年の参議院選挙は翌年に統一地方選挙を控えているので、地方議員は翌年の自分たちの勝利のため、熱心に運動をするので投票率が上昇するのだそうです。加えて今年の参議院選挙は政権交代を反映して、さらにホットな戦いが予想されます。

「2010年問題」発生？

昨年までは西暦と和暦が混在していても、「09年」は「2009年」、「9年」なら「平成9年」

とわかりました。しかし「10年」だと「2010年」か「平成10年」か「10年間」か判断に迷うと指摘されています。特にビジネス文書などは誤解されないように、省略せずに表記したほうが間違いないでしょう。

今年予定されているイベントは？

今年は平城遷都1300年祭のほか、次のようなイベントなどが予定されています。

1月	●公的年金事業を運営する「日本年金機構」が設立(社会保険庁は廃止)
2月	●第21回冬季オリンピック開催(カナダ・バンクーバー)
3月	●首都圏3番目の空港として「茨城空港」オープン予定 ●核拡散阻止策を討議する「世界核安全サミット」開催(米国・ワシントン)
4月	●事業者単位でエネルギー管理が義務づけられる「改正省エネ法」施行 ●長時間労働の抑制などを目的とする「改正労働基準法」施行 ●世界11カ国が加盟する「国際宇宙ステーション」が完成
5月	●上海国際博覧会開催(中国・上海)
6月	●第19回サッカー・FIFAワールドカップ開催(南アフリカ)
7月	●都心から成田空港へ最速36分「京成成田新高速鉄道線」開業予定 ●第22回参議院議員通常選挙
8月	●14歳~18歳のアスリートが参加する第1回ユースオリンピック開催(シンガポール)
9月	●ゆめ半島千葉国体開催
10月	●国内の人口や世帯の実態を明らかにする国勢調査実施
11月	●第16回アジア競技大会開催(中国・広州市) ●アジア・太平洋地域の多国間経済協力を進めるためのフォーラム「APEC」が横浜で開催
12月	●東北新幹線、八戸~新青森間開業予定(東京駅~新青森駅間約3時間20分)

※予定は変更になる場合があります。

【今月のことば】

俺は落胆するよりも次の策を考えるほうの人間だ

坂本龍馬・さかもとじょうま

坂本龍馬の没後、何度も龍馬ブームが起こっているが、2010年はNHK大河ドラマ「龍馬伝」がスタートすることから、ブームが到来しつつある。この言葉は、人は失敗すると落胆してしまうが、それでは何も解決できない。前を見据えて善後策を考えるほうが道はひらけるということであろう。